



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 日本ドライケミカル株式会社
 コード番号 1909 URL <https://www.ndc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠山 榮一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 亀井 正文
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03 - 3599 - 9500

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,628	9.7	1,495	52.0	1,537	51.8	961	55.3
2019年3月期第3四半期	24,266	20.8	983		1,012		619	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,044百万円 (61.3%) 2019年3月期第3四半期 647百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	135.83	
2019年3月期第3四半期	87.44	

当社は、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,337	13,382	49.0
2019年3月期	28,056	12,550	44.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,382百万円 2019年3月期 12,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		17.50	
2020年3月期		12.50			
2020年3月期(予想)				17.50	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	7.4	2,260	32.7	2,300	32.2	1,430	28.1	201.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日(2020年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,181,812 株	2019年3月期	7,181,812 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	100,624 株	2019年3月期	100,624 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,081,188 株	2019年3月期3Q	7,081,188 株

当社は、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が継続しましたが、一方で、消費税率引き上げ後の消費マインドの落ち込み、米中貿易摩擦をはじめとする海外経済情勢の不確実性の高まり等により、先行きへの不透明感、警戒感が引き続き認識される状況となりました。

当社グループの属する防災業界におきましても、民間設備投資は、東京オリンピック・パラリンピックを背景に堅調に推移しているものの、一方で国内労働市場の逼迫感が急速に広がっており、なお、先行きへの懸念は払拭できませんが、防災・減災を目的とした公共事業や都市部の大規模再開発等による需要拡大への期待感は膨らんでいるようにも見受けられます。

このような経済状況のもと、当社グループは、引き続き自動火災報知設備から消火設備、消火器そして消防自動車までを広くカバーする総合防災企業としての立ち位置を更に強化しつつ、製品ラインナップの拡充を図り積極的な営業活動を推進してまいりました。また、各種防災設備の設計・施工、消火器及び消防自動車等の製造そしてそれらのメンテナンスを通じて、世の中に高度な安心・安全を提供し、より良質な社会インフラを構築するという社会的使命を果たすべく、グループ一丸となって注力しております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は26,628百万円(前年同期比2,361百万円増加)となりました。利益につきましては、営業利益1,495百万円(同511百万円増加)、経常利益1,537百万円(同524百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益961百万円(同342百万円増加)となりました。

当社グループは、各種防災設備の設計・施工・保守点検、消火器及び消火設備、消防自動車、自動火災報知設備の製造・販売、防災関連用品の仕入・販売等、幅広く防災にかかわる事業を行っており、単一セグメントであるため、業績については営業種目別に記載しております。

営業種目別の業績は、次のとおりであります。

① 防災設備事業

当第3四半期連結累計期間は、都市再開発およびリニューアル等の大型案件の工事進捗が進んだこと、プラント施設の工事案件増加等により、売上高は14,469百万円(前年同期比2,241百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、3,144百万円(同526百万円増加)となりました。

② メンテナンス事業

当第3四半期連結累計期間は、改修・補修工事案件にかかる引き合いは継続してあり、その掘り起こしを積極的に進めたこと、新規顧客の開拓に努めたこと等により、売上高は5,765百万円(同805百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、2,214百万円(同339百万円増加)となりました。

③ 商品事業

当第3四半期連結累計期間は、小型工事案件の引き合いは堅調でありましたが、消費税率引き上げによる前倒し需要の反動減が影響したこともあり、売上高は5,776百万円(同10百万円減少)となりました。売上総利益につきましては、807百万円(同4百万円増加)となりました。

④ 車輛事業

当第3四半期連結累計期間は、電力会社向け特殊車輛の納入がありましたが、前年より納入数が少なかったこと等により、売上高は616百万円(同674百万円減少)となりました。売上総利益につきましては、28百万円(同62百万円減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、27,337百万円（前連結会計年度末比718百万円減少）となりました。

流動資産は、18,102百万円（同1,611百万円減少）となりました。主な内容は、現金及び預金2,244百万円（同1,425百万円減少）、受取手形、売掛金及び完成工事未収入金8,847百万円（同1,382百万円減少）、未成工事支出金918百万円（同683百万円増加）等であります。

固定資産は、9,235百万円（同892百万円増加）となりました。主な内容は、有形固定資産5,157百万円（同102百万円減少）、のれん1,163百万円（同118百万円減少）、投資その他の資産2,832百万円（同1,120百万円増加）等あります。

負債合計は、13,954百万円（同1,551百万円減少）となりました。

流動負債は、11,847百万円（同1,596百万円減少）となりました。主な内容は、支払手形、買掛金及び工事未払金4,733百万円（同1,247百万円減少）、電子記録債務2,081百万円（同25百万円減少）、短期借入金2,720百万円（同1,470百万円増加）、未払法人税等33百万円（同564百万円減少）、未成工事受入金895百万円（同318百万円減少）、賞与引当金319百万円（同492百万円減少）等あります。

固定負債は、2,106百万円（同45百万円増加）となりました。主な内容は、長期借入金340百万円（同110百万円減少）、退職給付に係る負債778百万円（同15百万円増加）、繰延税金負債400百万円（同143百万円増加）等あります。

純資産合計は、13,382百万円（同832百万円増加）となりました。主な内容は、配当金の支払212百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益961百万円を計上したことによる利益剰余金が8,726百万円（同749百万円増加）、その他有価証券評価差額金401百万円（同107百万円増加）等あります。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年2月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,669,631	2,244,021
受取手形、売掛金及び完成工事未収入金	10,230,487	8,847,817
電子記録債権	3,099,171	3,174,380
商品及び製品	1,220,720	1,213,378
仕掛品	366,225	641,867
原材料及び貯蔵品	699,903	854,872
未成工事支出金	235,005	918,061
その他	203,239	216,586
貸倒引当金	△10,911	△8,893
流動資産合計	19,713,473	18,102,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,208,066	4,242,006
減価償却累計額	△1,278,979	△1,419,398
建物及び構築物(純額)	2,929,087	2,822,608
その他	4,244,126	4,379,775
減価償却累計額	△1,913,714	△2,045,254
その他(純額)	2,330,412	2,334,520
有形固定資産合計	5,259,499	5,157,128
無形固定資産		
のれん	1,282,325	1,163,436
その他	88,779	82,506
無形固定資産合計	1,371,105	1,245,942
投資その他の資産	1,712,099	2,832,134
固定資産合計	8,342,704	9,235,205
資産合計	28,056,178	27,337,298
負債の部		
流動負債		
支払手形、買掛金及び工事未払金	5,980,912	4,733,650
電子記録債務	2,106,684	2,081,587
短期借入金	1,250,000	2,720,000
1年内返済予定の長期借入金	503,120	321,624
未払法人税等	597,430	33,405
未成工事受入金	1,214,481	895,985
賞与引当金	812,513	319,828
役員賞与引当金	22,796	10,381
完成工事補償引当金	62,385	51,453
修繕引当金	—	14,000
その他	893,954	665,815
流動負債合計	13,444,278	11,847,733
固定負債		
長期借入金	450,000	340,000
役員退職慰労引当金	133,991	149,638
修繕引当金	48,000	35,500
退職給付に係る負債	763,216	778,614
繰延税金負債	256,880	400,440
その他	409,311	402,678
固定負債合計	2,061,399	2,106,872
負債合計	15,505,677	13,954,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,549	700,549
資本剰余金	3,620,607	3,620,607
利益剰余金	7,977,239	8,726,630
自己株式	△116,139	△116,139
株主資本合計	12,182,258	12,931,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293,403	401,123
為替換算調整勘定	△22,493	△35,002
退職給付に係る調整累計額	97,332	84,923
その他の包括利益累計額合計	368,242	451,043
純資産合計	12,550,500	13,382,692
負債純資産合計	28,056,178	27,337,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	24,266,223	26,628,151
売上原価	18,879,139	20,432,766
売上総利益	5,387,083	6,195,384
販売費及び一般管理費	4,403,541	4,700,063
営業利益	983,542	1,495,321
営業外収益		
受取利息	732	683
受取配当金	25,073	29,084
持分法による投資利益	10,855	4,313
受取保険金	6,802	199
助成金収入	2,945	6,000
その他	22,835	29,520
営業外収益合計	69,245	69,801
営業外費用		
支払利息	14,793	11,362
為替差損	7,574	15,422
事務所移転費用	16,235	—
その他	1,504	1,291
営業外費用合計	40,106	28,076
経常利益	1,012,681	1,537,046
特別利益		
固定資産売却益	1,057	356
特別利益合計	1,057	356
特別損失		
固定資産除売却損	10,321	513
災害による損失	—	28,482
特別損失合計	10,321	28,996
税金等調整前四半期純利益	1,003,416	1,508,406
法人税、住民税及び事業税	367,128	423,673
法人税等調整額	17,115	122,907
法人税等合計	384,243	546,580
四半期純利益	619,172	961,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	619,172	961,825

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	619,172	961,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,660	107,720
為替換算調整勘定	△1,920	△12,509
退職給付に係る調整額	△9,084	△12,409
その他の包括利益合計	28,655	82,801
四半期包括利益	647,827	1,044,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,827	1,044,627
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。